

「サマースタジオ 2013」チューター募集

今年度も日本造園学会・関東支部企画にて、第9回学生デザインワークショップ「サマースタジオ 2013」を開催いたします。造園、建築、都市デザインを学ぶ学生が集い、デザインを通じてお互いの感性を高めあい、議論を深め、社会的な課題に対して具体的な提案をまとめ、課題対象地の土地・都市の将来像を描きます。今年度は昨年に引き続き、福島県石川町での合宿や報告会などを予定しております。

本企画の特徴のひとつに、チューター制度があげられます。ランドスケープ設計実務者が学生チームの指導にあたります。これにより、学生は実務における物事への取り組む姿勢、考え方などを学び、将来の目標を持つことができます。実務者も教える立場となって、自らの経験や考え方を整理する機会ともなるでしょう。

本務ご多忙とは存じますが、何とぞ、ご協力のほど、お願い申し上げます。不明な点については、担当事務局までご連絡ください。

テーマ 『原発の被害を受けた土地と向き合う 2013』

東日本大震災における原発事故の最大の被害を受けた福島県では、いまだに今後の将来像を描けていない地域が多い。放射線量の程度にかかわらず、風評被害として全県で生活・産業に深刻な影響が続いている。福島の復興なくして東北の復興はないとも言われている。

度合いの異なる被害状況の中でもは福島第一原発から 60KM 圏に位置する福島県石川郡石川町に注目する。石川町は原発事故の避難指示解除準備区域 (20km 圏) に近接しながらも放射線量の非常に低い自治体、いわゆる「クールスポット」ともいわれる地域の最前線に位置する。そのため、原発事故の被害を受けた土地の復興のための後方支援の拠点ともなる可能性は高い。一方で、原発事故から派生した風評被害の克服が地域に重くのしかかる課題ともなっている。また、原発事故がなくとも高齢化や過疎化が進行する地域でもあり、地域活性化のためのアイデアが求められている。

サマースタジオでは現地でのワークショップにおける地元関係者との対話や現地環境の視察を通じて、生活や生業などに関わる具体的な課題や活かすべき環境資産を見だし、解決のためのアイデアや土地・大地との繋がりの中で「再び人々が豊かに暮らすことのできる」福島の将来像について考えていく。

同テーマでのワークショップは 2012 年度から石川町で開催され、今年は2年目となる。2012 年度 (1 年目) は、主に「風評被害克服」に重点おいた町と周辺地域も含んだ活性化のアイデアの検討をした。2 年目となる 2013 年度では、「原発周辺地域から避難された人々が石川町で生業を営むことのできる土地の活用・再生案の検討」を行う。石川町と周辺地域との横のつながりに重点をおくものとなる。今年は3カ年連続したプログラムの2年目にあたり、昨年度に得られた知見や提案内容をベースに、更なる展開と深化を追求していきたい。

対象地：福島県石川郡石川町

(2013 年 5 月の平均放射線量は $0.064 \mu\text{SV/h}$ (石川町役場))

実施体制：公益社団法人日本造園学会関東支部主催・同東北支部協力・石川町共催

後援：NPO 法人ふくしま風景塾

■概要

○目的：

国土・都市形成におけるランド（土地・大地）のデザインの役割を重視し、そのプロセスにおいて、他大学の学生と議論を深め、自主的に考え、学ぶ機会を設ける。これにより、将来を担う幅広い視野を持った人材育成の一助とする。そして、社会性をもったランドスケープデザインを学生とチューター（教員、計画・設計実務者）が強く意識して取り組み、課題地域の土地・都市の将来像を描くものとする。

○ワーキング：

PHASE-1 現地ワークショップ（現地視察・関係者交流・将来像のブレスト）

PHASE-2 現地ワークショップ後のブラッシュアップ、中間発表、最終発表

具体作業：調査・計画・設計のプロセスを経て、図面、パネル、模型等の制作を行う。また、講習会用のプレゼンテーション資料を制作する。

○スケジュール：

- ・ 8/10（土）：事前ブリーフィング・研究会 於：東京農業大学
- ・ 8/16（金）・17（土）・18（日） 2泊3日：石川町 現地合宿ワークショップ
- ・ 9～10月：中間発表（東京農業大学、他）1～2回
- ・ 10/25（土）：ワークショップ最終成果発表（関東支部大会）於：東京農業大学
- ・ 10～11月：他地域支部大会における発表（予定）
- ・ 12月：石川町 地元報告会

○合宿プログラム（詳細は今後調整）

移動：マイクロバス（宇都宮駅からの送迎）2台で移動×3日間

宿泊：石川町内旅館

発表等会場：石川町内施設

1日目：8/16（金）目標：現地環境・産業の視察→環境資産の発見

2日目：8/17（土）目標：地元関係者、避難地域の住民との対話→人文環境のイメージング

3日目：8/18（日）目標：課題の整理と将来像のブレスト

■応募方法

○資格：登録ランドスケープアーキテクト（RLA）有資格者

○募集条件：原則として、合宿、ミーティング、発表会へは参加してください。

諸事変更に関しては、チューター、担当事務局にて調整します。

上記以外でも、学生の指導に時間を割いて頂くことになります。

○応募方法：必要事項を簡潔に記載のうえ、メールにて担当事務局宛にお送り下さい。

必要事項：氏名、所属、連絡先住所、電話、E-mail アドレス

出身校、専攻（学部）、実務年数、主な実績、資格

○その他：・10人前後の方をお願いしたいと考えておりますが、超過した場合には、

調整させて頂く場合がございます。

・若干の謝金をお支払いします。

・CPD登録を行います。（合宿、中間発表、関東支部大会発表時及び指導時間を申請可能）

○締切：**2013. 07. 26（金）必着**

■問合せ、提出先

○担当事務局：187-0022 東京都小平市花小金井 1-9-2-201

(株) プレステージ内 霜田亮祐 (関東支部幹事企画担当)

TEL：042-460-5801 FAX：042-460-5802

E-mail：**ss2013.jila.kanto@gmail.com** (本企画専用アドレス)